

# 7 防災探検まちあるき

子どもたちの視点で楽しみながらまちを「探検」し、災害が起きたときに危険と思われる場所や、防災に役立つものを探し、マップに書き込みます。



自分の住むまちをよく観察することによって、災害への備えや身近な危険について考え、気づくことができます。

高/中学  
小学校高学年・中学生以上

演習

屋外

90分

時間軸

## 実施内容

対象人数★5～40人(1グループ5～6人)

### 1 事前準備

- 1 実施日時を設定します。まちあるきの範囲を決めます。
- 2 探検するエリアの下見を行い、子どもたちがさがす場所・施設・設備などを確認しておくとともに、交通量が多い場所など危険がないかをチェックして、安全を確認します。
- 2 当日使用する物品・資料（まちあるきを行うエリアの地図やワークシート、文具、カメラなど）を準備します。

### 2 導入・事前学習 (10分)

→資料7-1・7-2

事前学習として、きょうは防災の視点から何を探せばいいのかを話し合います。

#### 【さがす場所・施設・設備などの例】

- 1 災害時に危険なところ (資料7-1を参照)
  - 池、川、海岸などの水辺
  - がけ、急斜面など
  - ブロック塀、自動販売機
  - せまい道路
  - 看板
  - 橋・歩道橋
- 2 防災に役立つ人・モノ・場所 (資料7-2を参照)
  - 防災資機材倉庫 (災害が起きたときに使うものを置いておくところ)
  - コンビニ、ホームセンター
  - 消火栓 (道路上などに設置されていて、消火用の水が出るところ)
  - 消火器 (街頭に設置されているもの)
  - 防火水槽 (火災の消火に使う水をためておくところ)
  - 避難場所・避難路及びそれらの標識
  - 消防署・消防分署等、消防団詰所
  - 警察署、交番
  - 病院、診療所、保健所
  - 電話ボックス、公衆電話
  - 公民館、集会所
  - 学校
  - 公園



防災上役に立つものについて話し合っておきます

### 3 グループ分け (5分)

グループ分けをして、各グループでリーダー、地図係、写真係などの役割を決めます。

### 4 まちあるきに出発 (40分)

→資料7-3・7-4

まちあるきを実施し、事前学習で話し合った、災害時に危険なところや防災に役立つ人・モノ・場所を探して、その場所を地図やワークシート(資料7-3、4①)に書き込んでいきます。まちあるきの途中で消防署やお店の人にインタビューをして話を聞いてみるのもいいでしょう。 ※まちあるきの途中では、適宜休憩をとってください。



まちを歩きながら地図に書き込みます

### 5 安全マップづくり (25分)

- 1 まず、模造紙にまちあるきをしたエリアの地図を拡大コピーして貼ります(模造紙に地図そのものを書き込んでもかまいません)。
- 2 通った道順や発見したもの、聞いた話をみんなで確認しながら、模造紙に書き込んでいきます。ふせん(メモ)を利用してみんなの意見を整理するとやりやすいです。
- 3 写真を撮っているのであれば、プリントした写真も貼りつけていきます。



集めた材料で安全マップを作ります

## 実施内容

時間軸

### 6 発表とまとめ (10分)

- 1 完成した安全マップについて発表してもらいます。まちあるき中に発見したことや気づいたこと、質問や疑問、感想などを自由に述べてもらってもかまいません。
- 2 災害に備えて、自分たちが住んでいるまちの危険なところ、防災に役立つところをふだんから気をつけてみて知っておくことが大切です。

### 指導ポイント

- 1 ふだんは気づかないけれども、注意して見ると身近なところには様々な危険があることを理解しましょう。
- 2 私たちのまわりには防災に役立つ施設などがたくさんあること、これらの施設などが災害時にはどんな役割を果たすのか、考えましょう。

### 自主防災組織の関わり方

危険のないように注意しながら一緒にまちをあるいたり、何を探せばいいのかを説明してあげてください。

### 準備するもの(目安)

準備品	数	備考
<input type="checkbox"/> 資料「災害時に危険なところ」	人数分又は班数分	資料7-1
<input type="checkbox"/> 資料「防災に役立つもの」	人数分又は班数分	資料7-2
<input type="checkbox"/> 資料「まちあるきワークシート」	人数分又は班数分	資料7-3、4①(配付用)
<input type="checkbox"/> 資料「まちあるきワークシート」(指導者用)	人数分又は班数分	資料7-3、4②(指導者用)
<input type="checkbox"/> 白地図(まちあるき用・マップ作成用)	グループに1つ	
<input type="checkbox"/> バインダー、クリップボード(まちあるき用)	グループに1つ	
<input type="checkbox"/> カメラ(まちあるき用)	グループに1つ	
<input type="checkbox"/> 模造紙(安全マップ作成用)	グループに1つ	下に新聞紙を敷いてください。
<input type="checkbox"/> 油性ペン(4~8色、安全マップ作成用)	グループに1つ	
<input type="checkbox"/> マークシール(5色程度、安全マップ作成用)	グループに1つ	
<input type="checkbox"/> ふせん(メモ、大・小、安全マップ作成用)	グループに1つ	
<input type="checkbox"/> のり、セロテープ、はさみ	グループに1つ	
その他：安全マップ作成を実施しない場合は、地図と筆記用具程度で実施可能です。		

### 家庭への持ち帰り

まちあるきで発見した「災害時に危険なところ」「防災に役立つ人・モノ・場所」などを家に帰って保護者の方に教えてあげるように指導してください。

### ひと工夫

- 1 消防署や自主防災組織に事前に相談し協力を得ておくことスムーズに進行します。
- 2 防災に関するだけでなく、日常生活の安全確保という視点で交通量が多くて危険なところや、子ども110番の家などの防犯に関するところを探して書き出して書いてみるのもいいでしょう。

### 注意事項

- 1 まちあるきは子ども主体が進めますが、各グループには必ず大人が1名以上つきそい、安全管理をして必要に応じてサポートしましょう。
- 2 交通ルールを守り、周囲には十分注意するように気をつけましょう。
- 3 夏に実施する場合は、日射病などに注意しましょう。
- 4 油性ペンを使用する場合は、換気に気をつけてください。

### 関連情報

日本損害保険協会が「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」を開催しています。このコンクールに応募すると、安全確保用ベストの貸出し、および模造紙、マジックセット、シール、ふせんなどの必要用品を無償提供していただけます。応募は年間通して受け付けています。【事務局電話番号】03-6822-9355 【ホームページ】http://www.sonpo.or.jp

「BOKOMIスクールガイド 防災教育支援ガイドブック」(神戸市、財団法人神戸市防災安全公社、NPO法人プラス・アーツ)に基づき作成